

市町村名	南風原町							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－③	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ				
			沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化				
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 （予定）年度	平成26～29年度	Ⅲ－10－（2）				
事業内容	災害時における地域住民の安全を確保するため、津嘉山小学校の南側集落からの避難通路を整備する。今年度は用地取得及び物件移転補償を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（31年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,122	1,496	13,500	－		
		(b) 予算現額	4,590	1,496	25,202	－		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 532	0	11,702	－		
		(d) 繰越額	－	－	－	23,218		
		A. 計 (b+d)	4,590	1,496	25,202	23,218		
	B. 執行済額		4,590	1,496	1,919	14,619		
	うち交付金充当額		3,672	1,196	1,535	11,695		
	次年度繰越額		0	0	23,218	0		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	7.6%	63.0%		
	予算の状況の説明		・予算額11,702千円の増について、当初事業にかかる3筆の用地のうち1筆の購入で計画していたが、平成29年度において3筆全てを購入することに計画を変更したことによる。 ・繰越の理由は、2筆の用地で相続が発生しており、手続きに不測の日数を要したことによる。 ・不用額8,599千円は、不動産鑑定評価額が当初見込み額より下回ったことによる。					
	活動目標（指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度		
津嘉山小学校南側避難通路整備の用地買収(371.5㎡)（工事場所：津嘉山小学校南側通路 整備：149.1m）		目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施					
達成状況説明		避難通路整備に向け、用地取得及び物件移転補償を予定個所全てにおいて実施することができた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （31年度）
	鑑定評価3個所の完了	目 標	（ ）	（ 3個所 ）	（ ）			（ ）
		実 績		3個所				
	補償調査3個所の完了	目 標	（ ）	（ 3個所 ）	（ ）			（ ）
		実 績		3個所				
	用地購入3個所の完了	目 標	（ ）	（ 3個所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		3個所				
	【H31成果目標】 整備した避難通路を活用した避難訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。		目 標					1回
	進捗状況説明	事業実施に必要な鑑定評価及び補償調査、用地購入の全てを完了（取得）することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・用地調査を進める上で、相続手続きが難航し、交渉へ移行するまで相当な日数を要したことと、共有名義の土地の交渉において、全員の承諾を得るまで時間を要したことから、完了までに時間を要した。 ・学校に近いため、授業や行事に支障のないように事業を行う必要がある。	・今後事業に遅延が生じないようにするために、当初の事業説明の時から相続人全員を対象とすることで事業計画等への理解を深めてもらう。 ・学校に直接つながる通路であることを十分認識し、避難通路整備にあたっては、学校の授業や行事等に支障がないよう、学校と調整を図り事業執行に努める。
今後の取り組み方針		
平成31年4月に供用開始できるよう工事発注を行い、事業実施に当たっては隣接する地権者及び学校行事との調整を図り円滑に事業遂行できるよう取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>16,538</td><td>16,538</td><td>13,230</td><td>3,308</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	16,538	16,538	13,230	3,308	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
16,538	16,538	13,230	3,308	0										
南風原町 16,538千円 → 委託料 1,919千円 → 那覇不動産鑑定(株) 1,296千円 〔 不動産鑑定委託 〕 → 那覇不動産鑑定(株) 623千円 〔 物件補償調査委託 〕 → 公有財産購入費 13,839千円 → 地権者8名 13,839千円 〔 対象地:3筆 地権者:8名(共有含む) 〕 → 補償費 779千円 → 対象者3名 779千円 〔 物件移転補償対象:3筆 対象者:3名 〕														
資金 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定については、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。事業実施に必要な用地の取得のための地権者への支出であり妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、用地取得および物件移転補償は、見積に基づき計上しており、適正な規模であったと考える。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的の達成の観点から、適正であるといえる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		南風原町						
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		6－⑨ 地域振興資料館整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－1－（5）－ア		
担当部課名		総務部 総務課		事業実施（予定）年度		平成27～29年度		
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－3－（2）		
事業内容		本町の貴重な文化財である「宮平の獅子舞」「津嘉山の綱曳」を保存、継承、発展させる事を目的として地域振興資料館の整備を行う自治会に対して補助金を交付する。						
効果発現年度		□当年度 ■後年度（30年度）						
実施方法		□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度
		予算の状況	(a) 当初予算額	35,560	—	6,129	—	
			(b) 予算現額	16,416	—	183,277	—	
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 19,144	—	177,148	—	
			(d) 繰越額	—	16,144	—	95,256	
			A. 計 (b+d)	16,416	16,144	183,277	95,256	
		B. 執行済額		0	15,898	87,048	94,792	
		うち交付金充当額		0	12,718	69,638	75,834	
		次年度繰越額		16,144	0	95,256	0	
		執行率（％）(B/A)		0.0%	98.5%	47.5%	99.5%	
予算の状況の説明		宮平地域資料館整備の施設建設工事及び津嘉山地域資料館の実施設計業務委託の追加により、予算177,148千円を増額した。 地域において委託設計内容の協議・調整等に不測の日数を要したため95,256千円を29年度に繰り越した。						
活動目標（指標）及び達成状況		H28活動目標（指標）		達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
		・津嘉山資料館建設（基本設計・実施設計）費の支援	目 標	（ 支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実 績	支援				
		・宮平資料館建設費の支援	目 標	（ 支援 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実 績	支援				
達成状況説明	津嘉山資料館の基本設計及び実施設計業務については、平成28年度で完了した。 宮平資料館建設については、平成29年度に繰越し、平成29年8月末に事業が完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況		H28成果目標（指標）		基準値（年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（30年度）
		H28年は、H29年の津嘉山資料館建築に向けた事業の着実な実施、基本設計書及び実施設計書の完成	目 標	（ ）	（ 完成 ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実 績		完成			
		・宮平資料館建築完了	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実 績		完了			
		【H30成果目標】 年間来館者数 津嘉山資料館2,100人 宮平資料館580人	目 標					2,100人 580人
進捗状況説明	津嘉山資料館については、平成28年度中に基本設計及び実施設計業務が完了した。平成29年度から建設工事を行い、平成30年4月に完了し、同年4月から供用を開始している。 宮平資料館については、平成29年8月に事業を完了し、平成29年8月から供用を開始している。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	宮平資料館及び津嘉山資料館の完成により、無形民俗文化財に指定されている「宮平獅子舞」と「津嘉山綱曳き」の保存と後継者の育成に力を入れる必要がある。	施設の利用について、年間計画等を作成して活用を図る。
今後の取り組み方針		
供用開始した施設において、地域の伝統芸能の練習日程やイベントなどの年間計画等を地域関係者会議等で作成し、地域の文化振興と後継者育成に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
227,300	181,840	145,472	36,368	45,460

南風原町
181,840千円

補助金
181,840
千円

宮平自治会
158,296千円

津嘉山自治会
23,544千円

(建築)建設工事共同企業体

宮平地域振興資料館新築工事(建築)
株式会社 大宜見組

株式会社 新共電気工業

宮平地域振興資料館新築工事
(電気・設備)

赤嶺企画設計室

宮平地域振興資料館新築工事
監理委託業務

有限会社 かなえ設計
7,290千円

津嘉山区地域振興資料館基本設計委託

有限会社 かなえ設計
22,140千円

津嘉山区地域振興資料館実施設計委託

宮平自治会負担分
(交付対象外経費:39,574千円)

津嘉山自治会負担分
(交付対象外経費:5,886千円)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町補助金交付要綱に基づき支出していることから妥当と考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者である自治会が総事業費の2割を負担しており負担割合は妥当であったと判断した。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	